

# MLOpsと信頼で きるAI

## MLモデルの運用化とAIの責任

AIで信頼を確立するには、透明性と説明可能性を提供し、データ、モデル、プロセスが公平かつ正確であることを徹底させるための事前計画、自動システム、ガバナンスが必要となります。データ・ファブリックは、オンプレミスでもクラウドでも、組織のサイロを越えたデータの仮想化により、信頼できるAIを構築するのに役立ち、以下が促進されます。

### データへの信頼性

内外のリソースから集められた質の高いデータを使って、強固なAIモデルを構築しなければなりません。断片的なデータや完全でないデータのみを見ては、偏りが生まれてしまいます。

### モデルへの信頼

自動化されたMLOpsで、生産時間が短縮し、拡張性が向上し、AIの偏りや説明責任といった課題に対処できます。作成時およびライフサイクル全体で、必要に応じて自動リトレーニングを活用して、モデルの正確度、説明可能性、偏り、公平性についての測定と監視を行う必要があります。

### プロセスへの信頼

データサイエンス開発ツールの急増により複雑化が進むと、監査や罰金のリスクが発生します。自動メタデータ・コレクションとポリシー管理プロセスでは、モデルの詳細をすべて自動で収集、保存するため、透明性と再現性が確保され、このリスクが緩和されます。



「企業の91%は、自社のAIがどのように意思決定したのかを説明する能力が重要だと述べています。」<sup>1</sup>

## 透明性へのスタート地点

MLOpsと信頼できるAIについての詳細は、当社の最新の電子書籍でご確認ください。この電子書籍は、データ・ファブリックのユースケース、お客様事例、製品情報の詳細を網羅しています。

ご都合のよい時間に予約いただき、データ・ファブリックの専門家にご相談いただくこともできます。

資料を読む →

専門家に相談する →

1. Global AI Adoption Index 2021、[https://filecache.mediaroom.com/mr5mr\\_ibmnewsroom/191468/IBM%27s%20Global%20AI%20Adoption%20Index%202021\\_Executive-Summary.pdf](https://filecache.mediaroom.com/mr5mr_ibmnewsroom/191468/IBM%27s%20Global%20AI%20Adoption%20Index%202021_Executive-Summary.pdf)